

5月23日(火)金沢ニューグランドホテルにて第1510回通常例会が開催されました。

松尾会長の挨拶では、先日の父の葬儀に参列いただきましてありがとうございますとお礼があり、最後の病院の院長が金沢西LCの幹事同期の方で、いろいろと配慮していただき、LCの暖かさに感謝しましたと述べられました。続いて「ビリギャル」の原作者 坪田信貴様の講演の話で、偏差値30の女子高生が慶応大学に現役で合格する話ですが、受かった結果、周りの評価が変わりはじめ、また過去の評価も変えてしまうことに驚いたと挨拶しました。

委員会アワーでは、青少年育成委員会委員長の高藤L.より活動報告があり、10/29、30のフットサル大会が無事終わり、皆様のご協力に感謝します。子供たちの熱いプレーに心躍らされましたと挨拶しました。



社会奉仕委員会委員長の稲葉L.からは石川・フィリピン友好協会を通じて、フィリピンのマリー小学校に100個のランドセルを贈呈しました。また、ジョイセフを通して240個、在日フィリピンの子供たちに60個、クラレを通して200個寄贈しました。ランドセルを通して、金沢の子供たちがフィリピンの子供たちの役に立

ているという思い、日本の子供たちの思いを受けとめているフィリピンの子供達、その橋渡しをLCが担っている思いは私の誇りになりましたと述べられました。

続いて、LCの献血活動においては献血者へのお礼の品を日本赤十字に協賛しています。1200名の目標でしたが、600名ほどになりました。コロナの影響で献血数が伸びなかったようです。若年層への献血啓蒙で泉が丘高校の前でGOTO献血活動をしました。猛吹雪で過酷な環境の中での活動になったことは今期一番の記憶になりましたと報告がありました。



地域環境委員会委員長の三浦L.から、今期は卯辰山清掃事業4回の予定が3回になりましたと報告がありました。写生大会ではリアルでやる予定がいろいろと課題が出てきて、去年と同様に公募の形で活動しました。50名の予定が84名の参加があり、LCのアクティビティが保護者の方々に浸透してきたと感じています。今後も続けてほしいアクティビティですと述べられました。

第2副会長 中村隆美L.からは荒木委員長のスポーツコミュニティ委員会は、金沢マラソンのボランティアと微笑みスポーツフェスタのボランティアを担当しましたと報告があり、各委員会は委員長の強いリーダーシップのもと活動して頂き感謝しておりますと総括しました。



テールツイスター嶋崎L.のドネーション発表では中村吉興L.のホールインワンの報告もあり、ファインは目標を達成しましたと報告もありました。続いて、和製英語のクイズで時間を調整して例会が無事終了しました。

